

提案書評価基準

【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「4 横浜版 AI ドリルの開発」、「6 横浜版 AI ドリルから得られるデータの提供及び活用に関する提案」に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員の評価の合計点の平均が 228 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数					重要度	配点
1 全体を通した評価事項								
業務目的、業務内容を理解しているか。提案者が所有する既存の AI ドリルプロダクト（以下、「自社 AI ドリル」）のアップデートに留まらず、本市とともに本市だからこそ実現可能な横浜版 AI ドリルを開発する意欲があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40
実施方針及び実施手法に妥当性・実現性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30
2 提案者について ※特定共同企業体の場合は、構成員全体で満たしているかを判断する。								
(1) ワークライフバランスに関する取組								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス賞	5:2つ以上有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5
(2) 障害者雇用に関する取組								
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成状況に応じて評価。 ・達成している（従業員 45.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 45.5 人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5
(3) 健康経営に関する取組								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得 ②横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	5:2つ有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5

3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
業務の遂行に十分な従事者が割り当てられているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校において自社 AI ドリルを提供した実績が1校以上あるか。ある場合、本業務に有益な結果、評価を得ているか。 (※実績あり→「1 or 3 or 5」、実績が無い場合「1」)	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×2	10	
(3)事業管理									
進捗管理、リスク管理（個人情報漏えい等の対策やコンプライアンス対策）の計画・体制について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
4 横浜版 AI ドリルの開発									
活用される主な AI 機能は、児童生徒の「基礎学力」「学習習慣」に効果的に寄与するものか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
児童生徒の学校教育において重視すべき三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）のうち、「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」のいずれかの伸長を図る工夫が示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
活用される主な AI 機能は、エビデンスに基づいて設計されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
ユーザーインターフェースは、児童生徒と教職員にとって使いやすいものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
通信環境等により動作が不安定な場合に、学習が継続できる工夫があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
児童生徒と教職員のダッシュボード（管理）画面は、取組状況を簡単にわかりやすく把握できるものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
保護者へのレポート機能は、保護者及び教員の負担なく、簡単に設定・変更・解除できる仕様か。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	

機能の質と量は、ICT の得意不得意など様々な状況にある教職員にとって負担感を感じさせにくいバランスとなっているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40
5 モデル校における運用サポートについて								
横浜版 AI ドリルが円滑に運用されるよう、教職員・保護者向けサポートデスクが充実しているか。 ※オンライン窓口…メール、問合せフォームなど ※教職員向け、保護者向けのうち、片方のみの場合「1」	5:電話及びオンライン窓口がある (又はチャットボット+問合せフォームなどオンライン相談窓口が優れている*) 3: 電話又はオンライン窓口(上記*を除く)がある 1:サポートデスクの充実が不十分	5	-	3	-	1	×4	20
横浜版 AI ドリルの活用が十分に進んでいない場合の支援例について、具体的な計画が見られるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
個人情報提供の同意が得られなかった場合の対応について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
6 横浜版 AI ドリルから提供できるデータ及び活用に関する提案								
横浜版 AI ドリルから、横浜市に提供するデータの展望について、有益性、妥当性、実現性はあるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20
横浜版 AI ドリルから得られるデータの活用提案の展望について、有益性、実現性はあるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20
横浜版 AI ドリルから得られるデータの活用の展望について、ベンチマークやエビデンスに基づいているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20
7 横浜版 AI ドリル試行運用に関する報告書の作成及び次年度受託業者への引継(データを含む。)								
来年度、横浜版 AI ドリルの本格運用が行われ、別の事業者が受託した場合のスムーズな引継計画(データ含む。)について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10

満点 380